

## 令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立袋井特別支援学校 P T A					
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	337人				

### 1. 使用状況

寄贈物品名	シーソー遊具 (海のシーソー・オクトパスシーソー)
使用学年及び人数	小学部1～6年生 144人
使用頻度	ほぼ毎日(晴れた日)
使用状況	○ 学年活動の外遊びや昼休みの自由遊びの時間に小学部の児童が使用している。
物品の使用による 変化や効果  ※ 1年目との違いを 含めご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遊び方、乗り方が分かりやすいので、低学年を中心に幅広い実態の児童が積極的に遊んでいる。</li> <li>○ 遊具コーナーの一番手前に設置されているため、シーソー目掛けて走って向かう笑顔の児童の姿が多く見られる。</li> <li>○ やさしく揺れる感覚が心地よいと感じる児童は、気持ちよさそうに揺れを楽しむ姿を見ることができる。</li> <li>★ 友達と一緒に遊ぶ乗り物だということが分かりやすく、自然に友達との関わりが生まれている。また、「一緒にやろう」「僕が揺らすよ」などと、友達と遊具を介して遊ぶ場面が多く見られ、子供同士の繋がりが生まれてきている。</li> </ul>
今後の活用の 見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も継続して、外遊び遊具の一つとして活用していく。</li> <li>○ 肢体不自由の児童も、教師が補助しながら揺れを楽しむことができる遊具であるため、活用する時間を広げていく。</li> <li>○ 遊びながら順番、ルール、人との関わりを学ぶ場面を作り出すことが出来るため、有効に活用していく。</li> <li>○ 年齢制限が表記されているため、(3-6歳)利用人数が多くなりすぎないように教師が調整をしていく。</li> </ul>
その他 希望や所感など	○ 2年目の遊具となるが、子どもたちがほぼ毎日活用している。昼休みを楽しみにする児童がとて増えた。

## 2. 活用の様子



教師に支えてもらい、気持ちよさそうに乗ります。 昼休みが毎日楽しみです！



ひとりで ゆらゆら♪



いっしょに ゆらゆら



この遊具を通して「友達と一緒に楽しい」の気持ちを味わっています。